



第2日目(7/13) 現地1日目 午前震災遺構伝承館 震災遺構 気仙沼伝承館



[速報ページへ](#)

[午後のページへ](#)



津波による被害を校舎4階まで受けた旧向洋高校が震災遺構として残されています。津波被害の映像や近隣の被災者が避難している中学校の体育館で行われた卒業式の様子などの映像資料を見せていただきました。語り部の方に、施設を案内していただきながら当時の様子や被害状況、避難に関するお話を聞かせて頂きました。実際の震災遺構を見学し、話を聞くことで、津波の被害の恐ろしさを感じることができました。



卒業生(語り部)よりお話



屋上にて被害状況の説明



1階教室内



3階に流れ着いた自動車



津波が襲った4階部分



4階・浸水の高さがわかる



折り重なる5台の自動車



津波被害の4階外側



感想・ふりかえり



ありがとうございました

生徒たちのふりかえり

2年藤原

最初に行った資料館では、普段接している水からは考えられない、水の威力の強さをしつた25センチでも人は足を取られて、バランスを失ってしまうのに東日本大震災は約12メートルの津波が来たとのことで、それは車や家を軽々と運んでしまう力強さだった。また、映像の音声から助けたくても助けられないもどかしさを感じ、自分の身は自分が守ることの強い意識を持って、判断・行動していこうと思った。他にも、見た写真の中で心に残ったのは水を汲んでる男の子のものだ。彼は小中学生ながらにして人の役に立ちたいということで、自らが足を怪我していることを家族にさえ隠し、毎日両手14リットルもの水を運んでいたそう。自分が同じ状況だったら同じ行動を起こせないだろう、冷静な判断と彼の人間力にすごく感心した。ヤマヨ水産では雑草むしり、溝かきの手伝いなどをした。牡蠣の養殖の過程も教えてもらい、勉強になった一日だった。温かいホストファミリーの方々を迎えてもらい、夜ご飯はそこで採れたキュウリや、唐揚げにカツオなどすごくちそうを食べさせてもらった。みんなで花火をしたのも夏を先取りしたようで楽しかった。

1年西

陸の孤島と呼ばれていた気仙沼市が、震災によって物が新しくなったり他の地域と繋がる道路や橋が作られ、朽ちていくばかりだったところを救われた形になったのは皮肉だなと思いました。今田んぼになっているところは震災前は住宅街だったと聞いてどきりとしました。身内が行方不明になった人の話を聞いたのです。資料館で見た被災モデルとは違い(校庭の部分がゴルフに使われていることも相まって)日常の中に被災した姿が見えて現実味を感じました。

語り部の方から避難所になっている場所でも低いと意味がないと聞きました。私も前からそう思っていたのでやはりそうなんだなあといった感じです。固定概念は危ない、という言葉は覚えておこうと思いました。少し驚いたのは体育館の屋根は軽くてきており地震や津波の大きさによっては屋根がごっそり持っていけることです。私の家の近くの避難所はちょうどそんなところだったので困惑しました。午後は牡蠣の養殖業をしている方々の手伝いをしました。手伝いをする前に地震が起きたとき何をどこに逃げるのかを教えられました。今まで色々な大人に緊急時の対応を教わったことがあるのですが、その今までの人々の誰よりも真剣に説明をされていました。経験から来る言葉の重みはこんなに違うのだなと思いました。その後は床を洗ったり側溝に溜まっていたおしりやとみんなで協力しながら半日を過ごしました。途中で小さな船に乗せていただき、カモメに餌をやったりしました。

2年伏原

今日は「気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館」と「ヤマヨ水産」に伺いました。伝承館では当時の津波の様子や被災した中学校の卒業式の映像を見たり、実際に津波の被害を受けた気仙沼向洋高校を見学したりしました。津波の映像では家や車、そしてフェリーが津波によっていとも簡単に流されていました。タンクが津波によって倒壊し、そこから流れ出た重油のせいで水の上で日の手が上がっていくところは衝撃でした。また、当時の映像では、去年に引き続きで2回目の視聴だったのにも関わらず感動して涙がでそうでした。高校の見学では語り部さんのお話を聞きながら見学しました。去年はご年配の方が語り部さんで話の内容も地域全体のお話が多かったのですが、今年はまだ9歳の若い語り部さんに案内してもらいました。気仙沼向洋高校を卒業された方で、高校のことなど去年は聞けなかったお話を沢山していただきました。「津波は波の壁」という表現は分かりやすく、家に帰って妹に教えようと思いました。

1年辻本

伝承館で、津波が強い力を持っていて家や車などを吹き飛ばしてしまうことを学んだ。話を聞くまで、地震が起きたらとりあえず学校に行けばいいと思っていたけれど、学校でも、1・2階とかは津波が来て危ないから屋上に逃げなければいけないと知った。学校の天井がほとんどなくて、しかも壁が崩れたりしてとても怖かった。車が壁を壊して学校の中に入ってくると思うと学校も危険だなと思った。